

令和7年度 第1回
国府地域振興未来会議議事概要

日 時：令和7年5月7日（水）14時～15時

場 所：国府町総合支所第1会議室

出席委員：山田一孝、前岡美華子、福田克彦、富家友美、長尾隆基
福田大輔、岸田玲子

事務局：須崎支所長、藪下副支所長兼地域振興課長、吉田産業建設課長
植村市民福祉課長、石原地域振興課長補佐

◎会議次第

- 1 開会
- 2 支所長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 地域振興未来会議について 資料1
- 5 会長・副会長選出
《会長あいさつ》
- 6 説明項目
 - （1）国府地域未来プランの概要説明等について 資料2
 - （2）令和7年度国府地域に関する当初予算について 資料3
 - （3）地域振興未来会議開催スケジュール予定について 資料4
- 7 その他
- 8 閉会

【概要】

4 地域振興未来会議について

資料1について事務局より説明。

5 会長・副会長選出

会長：山田委員、副会長：前岡委員を選出、承認される。

6 説明事項

（1）国府地域未来プランの概要説明等について

資料2について事務局より説明。

〔委員〕 この未来プランが出来た後の姿が見えないので、もう少し説明がほしい。

- 〔事務局〕 昨年、地域振興会議で本プランを作成したのだが、プランの期間である5年間の中で何ができるか考え、事務局側である程度の項目に絞り6項目の課題を挙げた。課題解決に向け、もっとこうした方がいいのではないか、もっとこういう考え方ができるのではという意見があれば、随時ブラッシュアップしていきたいと考えている。
- 〔委員〕 この会で議論した内容について、様々な事業展開を考え提案し、それを来年度以降の予算ベースに反映していくというような理解でいいか。
- 〔事務局〕 予算化には計画が非常に重要になってくるが、その計画を行政が一方的に作成するのではなく、こういう計画で誰が主体となったらできるかなど、その辺までこの会で議論していけるといい。
- 〔委員〕 未来プランが出来たときに、絵に描いた餅で終わってしまうのが一番怖いと感じていて、本会議でこのプランの方向性を見極めながら、より具体的な議論をし、それを事業化に向けて予算要求していくというのがこの未来会議のあるべき姿と思う。
- 〔委員〕 未来プランの具体的な項目ごとの検討等は次回からということで、本日は全体の中で委員の共通認識を持つということで大丈夫か。
- 〔事務局〕 未来プランを読んでもいただき、優先順位もそれぞれ委員の皆さまの考えがあると思うが、この6つの項目の中である程度絞らないとまとめにくいかと考えている。次回の会議で優先順位を決めるというわけでもないが、委員の皆様の思いをお伺いしたい。
- 〔委員〕 委員である私達が自分事としてこのプランの中身を理解し、その実現に向けて行政と一緒に動いていくと理解している。
- 〔委員〕 地区別人口推移を見ると奥の方の人口減少が多い。そのような状況の中、この地域全体の課題として、プランの計画に入れ込めるのか不安を感じるが、多くの問題点についてももっとお話いただきたい。
- 〔委員〕 各地域で春祭りがあるが、年々人が減っているのが分かる。また、休耕地が増えているし、お米が高いのも全国的な問題である。もっとお米が作りやすくなったらいいと思うし、休耕地を何とかできないかと感じている。例えばお米の新たな流通ルートを開拓したり、お米が採れないときにどうしたらいいか、など農家に不安がなくなるような何か新しいことができたらいいい。
- 〔委員〕 農業適正化推進委員の中でも休耕地が多いのは認識している。農業委員としても話しあわないといけないし、この会議の場でも議論ができたらと思う。
- 〔委員〕 やはり人を育てることがキーとなると思う。農家さんでない委員さんから農業のことについて意見が聞けたのはすごくありがたかった。
- 〔委員〕 インスタグラムなどのSNSを活用するなど、情報発信していくことは必要と思う。取り組みは結構面白いものが多いので、やれることは広いと

思う。また、定住者を増やしたいのか、観光地として人の周りを増やしたいのかは、なかなか言い難い。

〔委員〕 国府町のことは好きだが、どこに魅力があるかを考えたとき、例えば宇倍神社に行くけど食べる場所がないので、それで終わってしまう。奥の方は限界集落に近く暮らしていくには難しくなっているし、同じ国府町でもあおばや宮下は人口が増えているようだが、アパートばかりで人との繋がりはない状態。保育園にも子どもが少なく、地元にも子どもがいても幼稚園バスで旧市まで行っているような状態であり、すごく寂しい。そんな環境で育った子どもたちが国府に帰ってくるとなると、働く場所と魅力がないと帰ってこない。プランの6つの課題はどれも大きな課題で、地域の子どもとお年寄りが交流し育つような地域であれば、魅力はあると思う。

〔委員〕 自分は教育環境の適正化について問題視していて、グラフで分かるように国府東小学校単独で成り立つのかという思いもあり、そうなる前から考えていくことが必要だと思う。気高でも10年ぐらいかかっている。それを考えると今からでも話し合いの場を作っていく必要があると考えている。

〔委員〕 将来的に2地区より上に住んでた人が戻ってきて子どもを産んで育てるということがどれだけ期待できるかだが、なかなか難しいと思う。学校の統廃合については保護者の間でも話が出るが、ここで統廃合するとさらに上の方に若い人が住まなくなるのではないかとの意見もある。宮ノ下小学校があわなくても、国府東小学校に行ったら学校に通えるという例もあり、その小規模の強みを生かして残していくことも選択肢に入れ、地域で保護者と考えていけないといけないと思う。
人作りはそこにいる人ばかりでは難しく、新しい人に入ってきてもらい活躍できるような、排他的なものではない動きが必要。

(2) 令和7年度国府町地域に関する当初予算について

資料3について事務局より説明。

〔委員〕 今年度の予算については、いわゆる例年並みの予算になっているのか。

〔事務局〕 新規の事業としては、支所改修と遊休施設活用支援と雨滝の周辺施設整備事業で、その他は概ね経常経費である。本年度でフィッシングフェスタがファイナルなので、それに代わるなにか賑わいづくりができたと思う。

(3) 地域振興未来会議開催スケジュール予定について

資料4について事務局より説明。

〔委員〕 先ほどの議論が途中でストップした感じとなっているので、委員の皆さんから他にご意見があれば言っていただきたい。

〔委員〕 委員から農業の話が聞けて本当にありがたいと思う。遊休農地を利用した生姜の植え付けを保育園のこどもが体験したが、土に触れるということは

いいと思った。また、米の販路はすでに競争が始まっていて、農家さんには声がかかってるようだ。他にも花とか、観光地としていいかなと思った。
〔事務局〕 様々な意見が出る中で、ちょっとしたきっかけで変わることもあると思うので、いろんなことを言っていただければ次の変化も見えてくると思うので、委員の皆様には次回いろんな意見を言っていただければと思う。

7 その他

事務局より会議開催後に概要の公式ウェブサイトへの掲載について説明

8 閉会

次回の開催日時

令和7年7月11日（金）13：30～

国府町総合支所第1会議室